

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 2月 6日

公表: 令和 8年 3月 吉日

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	参考:工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			私たちは、お子さまがリラックスして活動できるよう「空間のゆとり」を大切にしています。児童発達支援の法定基準(30m ² 以上)を十分に満たした広々とした室内は、どこにいても指導員の温かい目が届くオープンな設計です。混雑感のない落ち着いた環境を維持することで、お子さま一人ひとりの変化やサインを逃さず、安全で細やかな療育につなげています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			当事業所では、お子さま一人ひとりの個性に深く寄り添うため、国の人員配置基準(児童10名に対しスタッフ3名)を上回る体制を常時整えております。保育士や教員免許、看護師資格など、教育・福祉・医療の各分野で研鑽を積んだ専門スタッフが在籍。それぞれの専門知識を掛け合わせることで、多角的な視点からお子さまの成長を支える「チーム療育」を実践しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			お子さまにとって「今、何をすべきか」が直感的に伝わるよう、室内のレイアウトを最適化しています。遊具の配置を分かりやすく整理し、刺激となる掲示物を最小限に抑えることで、落ち着いて過ごせる空間を整えました。一部、施設内に階段等の段差がございますが、そこはコミュニケーションの機会と捉え、スタッフが適切に歩行や昇降の介助を行っております。物理的な制限に縛られず、お子さまが安全に活動範囲を広げられるよう、全スタッフが細心の注意を払ってサポートいたします。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			当事業所では、お子さまの些細な変化を逃さず支援に反映させるため、活動の節目ごとに綿密なブリーフィングを実施しています。現場でキャッチした「いま」の情報を即座に共有し、さらに定期的な全体会議を通じてそれらの情報を構造的に分析。特に保護者様からのアンケート結果は、スタッフ全員の共通認識として深く掘り下げ、具体的な業務改善へと繋げています。PDCAサイクルを形骸化せず、常に最善を追求し続ける組織文化を大切にしています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			当事業所では、保護者様アンケートからいただいた貴重な示唆を、具体的な「年間改善計画」として反映させています。特に優先度の高い事項は「重点改善項目」として設定し、全スタッフの共通目標として共有。単に実行だけでなく、定期的なレビュー(振り返り)の機会を設け、進捗状況を厳しく検証しています。常に進化し続けることで、より質の高い療育環境を維持いたします。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			アンケート結果をホームページ上で公表しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在は利用者様と社内の評価のみとなっておりますが、今後は第三者評価の実施に向けて前向きに検討しています。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			所属職員に対して放課後等デイサービスに関する各種のWeb研修への参加や、職員に対しての教育訓練を実施しております。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			見学や体験時、又は送迎の際にニーズを把握したり、行動観察を記録し、支援計画を作成しています。必要に応じて、特別支援教諭がwisc検査を実施及び、結果をお持ちいただき発達状況を把握しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティング等ではスタッフ一人ひとりが自由に意見を言い、支援の仕方や活動の進め方等の問題点や課題を明確に活動プログラムに反映させています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			音楽を通じた活動ではあるが、子ども一人ひとりやグループの特性に合わせたプログラム内容を計画し、季節や達成度に合わせて変化させています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			支援時間に応じて、設定し対応。特に、一日支援の時は、郊外での運動や工作などのプログラムを取り入れています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の課題、集団の中での育ちを踏まえて支援計画を作成しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動の前で職員ミーティングを行い職員間で情報を共有します。始める前には利用者様の様子やプログラムの流れ、支援方法を確認し合い、終わった後は支援の振り返りを行い、記録します。それらを次のステップアップや改善につなげていきます。
	16 支援終了後には、翌日の朝礼にて、職員間で情報共有し、前日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			定期的な個人の目標達成度についてReviewを行い、必要に応じて目標の変更・追加などの見直しを行います。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月以内に1回以上、支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			現在、音楽療法活動を通して成功体験を積んだり自己肯定感を高めたり、ビジョントレーニングに依る眼球運動のコントロール能力、焦点合わせ等の機能向上を実施しております。また、お友達と関わったり、表現する喜びを体験したり、活動の中で自己選択する場面を設けたりして専門療育に特化して支援しています。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			開催される場合には児童発達支援管理責任者又は、特別支援学校教諭免許保持者等の適任者が出席しております。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者を通して情報を得ています。学校主催の連携会議が開催される場合は参加させていただいております。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在は看護師常勤4名にて対応しております。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			基本的に利用者に関する情報は関係機関との情報共有がなされています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		開所から現在まで実績は御座いません。障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供致します。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			療育の実施時間が限られており、地域交流が難しい状況となっております。利用者の状態に応じて必要性があれば支援計画に位置付けた上で考慮していきます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		要請があれば参加しています。関連するものとして、菊川市又は、近隣地区障害福祉サービス事業者連絡会や要保護児童対策地域協議会に参加しています。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回終了後に保護者の方へ直接フィードバックの時間を設けています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○			現在、ペアレントトレーニングのプログラムは行っていないが、フィードバック時に対応方法などのアドバイスの機会を設けています。ペアレントトレーニングについては、職員に対して教育訓練を実施して今年度は取り入れていく予定です。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っております。また、随時不明な点は職員が説明するようになっています。支援の内容については支援計画の説明でお知らせしたり、支援終了後にフィードバックの時間を設けています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		利用者が活動に参加している時間や支援終了後のフィードバック時に応じることができます。また、必要に応じて別日で相談日を設け面談等を実施しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		ペアレント・トレーニングを開催。御前崎ひるがお校並びに菊川校と合同で『芸術発表会(保護者会)』を開催しました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合、苦情受付・解決担当につなげ迅速かつ適切に対応しています。また社内で情報共有をしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		保護者の皆様に、個別でラインにて、配信させて頂いております。また、ホームページを通じ、活動内容を発信しております。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報が記載された書類は鍵付き倉庫内に保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		わかりやすい伝達方法を工夫したり、伝える方法を利用者や保護者に合わせるようにしています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		小規模ながら隣家の方との療育活動により、交流を図っております。今後も地域の中の事業所として可能な形で開かれた事業運営に努めます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		危機管理マニュアル、緊急事態対応マニュアルに加え災害時の避難計画を策定して保護者様にお知らせします。コロナウイルス感染症対応マニュアルも自治体のガイドラインに沿った形で更新し周知徹底を図っています。今後は保護者様にむけてマニュアル等の情報の開示を計画します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		職員、児童を含めた避難訓練を定期的実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止に関わる外部講習はリモートで参加し受講しています。新規入社職員に対しても順次受講させていただきます。虐待防止/身体拘束の適正化マニュアルを作成するとともに、全職員を対象としたセルフチェックを定期的実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在対象児童はおりません。身体拘束に関しては、利用者様本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識としています。そして、行った場合は記録に残すこととしています。また、保護者様にはそれらを契約書に記載し説明しています。対象児童がいる場合には組織的に決定し、支援計画に記載する体制があります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーがあれば活動には取り入れないようにしています。必要に応じて服薬・投薬・緊急搬送先などの取り決めを保護者と行い、医師にも確認してもらっています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。現地現物で危険箇所を確認して予知保全活動を展開しています。